



2025年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年11月10日

上場会社名 ザ・パック株式会社 上場取引所 東
コード番号 3950 URL <https://www.thepack.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 仲村 直樹
問合せ先責任者 (役職名) 取締役コーポレート本部長 (氏名) 下村 郁夫 (TEL) 06(4967)1221
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年12月期第3四半期の連結業績（2025年1月1日～2025年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年12月期第3四半期	71,603	2.2	4,278	△13.5	4,521	△11.8	3,446	△13.5
2024年12月期第3四半期	70,040	3.6	4,945	9.9	5,124	8.4	3,984	24.3

(注) 包括利益 2025年12月期第3四半期 3,308百万円 (△9.9%) 2024年12月期第3四半期 3,670百万円 (△16.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年12月期第3四半期	61.13	61.11
2024年12月期第3四半期	69.96	69.92

(注) 当社は、2025年7月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年12月期第3四半期	98,059	75,439	76.9
2024年12月期	103,292	74,485	72.1

(参考) 自己資本 2025年12月期第3四半期 75,420百万円 2024年12月期 74,459百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年12月期	—	52.00	—	66.00	118.00
2025年12月期	—	58.00	—	—	—
2025年12月期（予想）	—	—	—	22.00	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

当社は、2025年7月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。「2025年12月期（予想）」については株式分割後の内容を記載しており、年間配当金合計は「—」と記載しております。なお、株式分割を考慮しない場合の「2025年12月期（予想）」の1株当たり期末配当金は66円00銭になります。

3. 2025年12月期の連結業績予想（2025年1月1日～2025年12月31日）

（％表示は、対前期増減率）

通期	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
	103,000	1.5	7,300	△8.9	7,600	△8.3	6,100	△3.4	108.26

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

当社は、2025年7月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。連結業績予想における「1株当たり当期純利益」については、当該株式分割後の数値を記載しております。なお、株式分割を考慮しない場合の「1株当たり当期純利益」は324円79銭になります。

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年12月期3Q	59,700,000 株	2024年12月期	59,700,000 株
② 期末自己株式数	2025年12月期3Q	3,366,978 株	2024年12月期	3,355,092 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年12月期3Q	56,369,073 株	2024年12月期3Q	56,946,153 株

（注）当社は、2025年7月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数（自己株式を含む）」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想等の将来に関する記述は、業績に影響を与える不確実な要因に係る仮定及び本日現在における入手可能な情報を前提としており、実際の業績等は様々な要因で大きく異なる結果となる可能性があります。

なお、業績予想に関しましては、【添付資料】P.3「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(会計方針の変更に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、所得環境の改善や政府の経済対策、インバウンド需要の増加などにより緩やかな景気回復が続く中で、食料品など身近な物の慢性的な価格上昇により、個人消費の回復は賃金・所得の伸びに比べて力強さを欠いた状況にありました。こうした中で、米国による関税引き上げによる悪影響が、日本経済を直接・間接的に下押しする大きなリスクとなっています。

米国の経済は、物価の上昇が消費行動に影響を与えていますが、依然として失業率の低さを維持しており、個人消費を下支えする環境が続いているものの、関税政策により企業収益が圧迫されており、この影響が企業や家計の経済活動を下押しすることが懸念されます。

中国の経済は、政府の経済政策や社会支援策により国内消費を下支えするものの、不動産市場は依然として低迷し、米国との貿易摩擦が与える不確実性が影響を及ぼすことから消費は減速しています。

このような状況の中、当社グループは、「進化 — パーパス経営・サステイナブル経営のスタート —」を中期経営計画のスローガンに掲げ、連結売上高1,070億円、営業利益83億円（2025年12月期）の達成を目標としており、グループ全社が結束して新たな市場開拓、品質管理の改善などにより業績の向上に努めてまいりましたが、積極的な設備投資並びに人的投資を進めたこともあり、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は716億3百万円（前年同期比2.2%増加）、営業利益は42億78百万円（前年同期比13.5%減少）、経常利益は45億21百万円（前年同期比11.8%減少）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は34億46百万円（前年同期比13.5%減少）となりました。

セグメントの業績は、次の通りであります。

(紙加工品事業)

当第3四半期連結売上高の73.2%を占めるこの部門において、紙袋（対連結売上高構成比30.3%）は、飲食や観光関連及び小売業向けの販売が堅調に推移しました。また、ザ・パックアメリカコーポレーションと特百嘉包装品貿易（上海）有限公司も販売が好調に推移し、同上売上高は217億19百万円（前年同期比0.9%増加）となりました。

紙器（同上構成比26.3%）は、食品を中心とした土産物市場やテイクアウト・宅配向けの食品容器並びにEC市場向けパッケージの販売が堅調に推移した結果、同上売上高は188億40百万円（前年同期比3.8%増加）となりました。

段ボール（同上構成比14.5%）は、EC市場向けパッケージやメーカーの輸送用段ボールの販売が好調に推移したことで、同上売上高は103億65百万円（前年同期比13.8%増加）となりました。

印刷（同上構成比2.1%）は、包装印刷を中心に新たな需要への取組みも進めておりますが、同上売上高は14億67百万円（前年同期比0.7%減少）となりました。

以上により、この部門の売上高は523億92百万円（前年同期比4.3%増加）となり、営業利益は40億67百万円（前年同期比10.3%減少）となりました。

(化成品事業)

当第3四半期連結売上高の13.3%を占めるこの部門では、紙化の影響により専門店向けの販売が減少しましたが、軟包装等が伸長したことで、同部門の売上高は95億34百万円（前年同期比0.9%増加）となり、営業利益は4億98百万円（前年同期比15.4%減少）となりました。

(その他)

当第3四半期連結売上高の13.5%を占めるこの部門では、PASシステム（包装資材その他の製造・調達から在庫管理、納品まで一括で請け負うアウトソーシングシステム）に係る用度品等の販売が減少し、同部門の売上高は96億77百万円（前年同期比6.4%減少）となり、営業利益は6億97百万円（前年同期比10.6%減少）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ52億32百万円減少し、980億59百万円となりました。これは主に「現金及び預金」46億71百万円の増加、「受取手形及び売掛金」76億78百万円・「有価証券」39億99百万円の減少によるものです。

当第3四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ61億87百万円減少し、226億19百万円となりました。これは主に「支払手形及び買掛金」26億56百万円・「電子記録債務」21億99百万円・「未払法人税等」13億71百万円の減少によるものです。

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ9億54百万円増加し、754億39百万円となりました。これは主に「利益剰余金」11億16百万円の増加によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2025年8月12日に公表しました内容から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,167	19,838
受取手形及び売掛金	25,346	17,667
有価証券	8,499	4,500
商品及び製品	7,121	7,940
仕掛品	1,260	1,294
原材料及び貯蔵品	986	1,064
その他	1,671	2,663
貸倒引当金	△11	△32
流動資産合計	60,043	54,935
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	8,399	8,436
機械装置及び運搬具（純額）	9,114	9,720
工具、器具及び備品（純額）	339	330
土地	11,180	11,238
建設仮勘定	1,133	947
有形固定資産合計	30,166	30,672
無形固定資産	3,384	3,948
投資その他の資産		
投資有価証券	8,058	6,947
退職給付に係る資産	627	766
繰延税金資産	110	158
その他	955	688
貸倒引当金	△55	△58
投資その他の資産合計	9,697	8,502
固定資産合計	43,248	43,123
資産合計	103,292	98,059

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,966	11,310
電子記録債務	7,149	4,949
1年内返済予定の長期借入金	33	33
未払法人税等	1,774	402
賞与引当金	358	775
役員賞与引当金	56	42
その他	4,427	3,574
流動負債合計	27,766	21,088
固定負債		
長期借入金	49	456
退職給付に係る負債	335	382
繰延税金負債	620	657
その他	34	33
固定負債合計	1,040	1,530
負債合計	28,806	22,619
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,553	2,553
資本剰余金	3,161	3,164
利益剰余金	69,259	70,375
自己株式	△3,536	△3,557
株主資本合計	71,437	72,536
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,035	2,108
繰延ヘッジ損益	3	1
為替換算調整勘定	561	376
退職給付に係る調整累計額	421	397
その他の包括利益累計額合計	3,022	2,884
新株予約権	25	18
純資産合計	74,485	75,439
負債純資産合計	103,292	98,059

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
売上高	70,040	71,603
売上原価	52,407	54,042
売上総利益	17,633	17,561
販売費及び一般管理費		
運賃及び荷造費	2,928	2,937
給料及び手当	3,188	3,311
役員報酬	381	396
貸倒引当金繰入額	96	22
賞与引当金繰入額	405	416
役員賞与引当金繰入額	38	41
退職給付費用	153	156
減価償却費	380	582
賃借料	2,248	2,429
その他	2,867	2,987
販売費及び一般管理費合計	12,687	13,282
営業利益	4,945	4,278
営業外収益		
受取利息	95	106
受取配当金	89	100
受取賃貸料	29	30
その他	17	41
営業外収益合計	231	279
営業外費用		
支払利息	2	6
賃貸収入原価	4	4
投資事業組合運用損	0	-
為替差損	35	11
自己株式取得費用	6	0
その他	3	12
営業外費用合計	52	36
経常利益	5,124	4,521
特別利益		
投資有価証券売却益	681	488
固定資産売却益	55	0
特別利益合計	737	488
特別損失		
固定資産売却損	10	0
固定資産除却損	9	2
特別損失合計	19	3
税金等調整前四半期純利益	5,842	5,006
法人税、住民税及び事業税	1,868	1,634
法人税等調整額	△10	△73
法人税等合計	1,858	1,560
四半期純利益	3,984	3,446
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,984	3,446

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
四半期純利益	3,984	3,446
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△306	73
繰延ヘッジ損益	△18	△2
為替換算調整勘定	32	△184
退職給付に係る調整額	△20	△23
その他の包括利益合計	△313	△137
四半期包括利益	3,670	3,308
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,670	3,308

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	紙加工品 事業	化成品 事業	計				
売上高							
紙袋	21,521	—	21,521	—	21,521	—	21,521
紙器	18,141	—	18,141	—	18,141	—	18,141
段ボール	9,108	—	9,108	—	9,108	—	9,108
印刷	1,476	—	1,476	—	1,476	—	1,476
化成品パッケージ	—	9,448	9,448	—	9,448	—	9,448
その他	—	—	—	10,343	10,343	—	10,343
顧客との契約から 生じる収益	50,248	9,448	59,697	10,343	70,040	—	70,040
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	50,248	9,448	59,697	10,343	70,040	—	70,040
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	50,248	9,448	59,697	10,343	70,040	—	70,040
セグメント利益	4,534	588	5,123	780	5,904	△959	4,945

(注) 1. 「その他」は用度品、その他雑貨であります。

2. セグメント利益の調整額△959百万円には、各報告セグメントに配分していないセグメント間取引消去7百万円及び全社費用△966百万円が含まれております。全社費用は、主に親会社の管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 2025年1月1日 至 2025年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	紙加工品 事業	化成品 事業	計				
売上高							
紙袋	21,719	—	21,719	—	21,719	—	21,719
紙器	18,840	—	18,840	—	18,840	—	18,840
段ボール	10,365	—	10,365	—	10,365	—	10,365
印刷	1,467	—	1,467	—	1,467	—	1,467
化成品パッケージ	—	9,534	9,534	—	9,534	—	9,534
その他	—	—	—	9,677	9,677	—	9,677
顧客との契約から 生じる収益	52,392	9,534	61,926	9,677	71,603	—	71,603
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	52,392	9,534	61,926	9,677	71,603	—	71,603
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	52,392	9,534	61,926	9,677	71,603	—	71,603
セグメント利益	4,067	498	4,565	697	5,263	△985	4,278

(注) 1. 「その他」は用度品、その他雑貨であります。

2. セグメント利益の調整額△985百万円には、各報告セグメントに配分していないセグメント間取引消去△55百万円及び全社費用△929百万円が含まれております。全社費用は、主に親会社の管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2025年2月12日開催の取締役会決議に基づき、自己株式60,000株の取得を行いました。この結果、当第3四半期連結累計期間において自己株式が71百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が3,557百万円となっております。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
減価償却費	1,669百万円	2,151百万円
のれんの償却額	—百万円	9百万円